

## 環境社会学ゼミ合宿報告

日時：2025 年 9 月 24 日（水）・25 日（木）

場所：山梨県河口湖&忍野八海

### <報 告>

4 年生 2 名、3 年生 6 名、指導教員で山梨県河口湖、忍野八海を訪問しました。2 日目は天気にも恵まれ秋晴れの下、富士山が良く見え、後期の授業に向け非常に刺激ある 2 日間を過ごすことができました。後援会からの交通費補助に感謝申し上げます。

忍野八海は、2013 年 6 月に「富士山－信仰の対象と芸術の源泉」の構成資産として世界文化遺産に登録された。今回は、観光、経済、環境保全という側面から現地視察を行い、現状の確認と課題を見出し、地域資源を生かした持続可能な観光モデルの展開を学ぶことが目的だった。

実際に、観光客の急増により一部の池で水質悪化が発生しており、地元では対策も行っているが、十分に機能しておらず、クラウドファンディングを行いより大規模な対策を行おうとされていた。全体としてみれば、地域住民の定期的な清掃は環境整備活動により、水辺環境は良好に維持されている印象だった。地域住民と水辺利用の関係が、世界文化遺産登録により変化したことも確認した。

初日に山梨県立富士山世界遺産センターを訪問し、富士山の形成過程と歴史等の学びが、二日目の学修につながった。観光協会を通して、ふるさと忍野案内人の方に案内していただいたことで、地域の歴史、自然環境の形成、地域の方が忍野八海とのつながりの中で育んできた文化を深く感じ取ることができた。

後期の専門ゼミナールにてゼミ合宿の報告・ふりかえりを行い、学生それぞれの学びを共有することで、さらに新たな問いも生まれてきたため、今後につなげていきたい。





